令和７年度の主な取組と成果



安全な輸送サービスの確保

- 市バスの安全管理体制を構築・改善する「運輸安全マネジメント」を推進
- 事故防止に向けた体験型の運転手実技研修や事故回避情報の共有等を実施
- 全ての運転手に対して３年に一度実施している一般適性診断について、６０歳以上の運転手については毎年の受診に変更
- 安全啓発の取組として、小学生に向けた交通安全・バリアフリー教室を実施
- 公益社団法人日本バス協会が実施する「貸切バス事業者安全性評価認定制度」において、二ツ星の評価認定を取得

快適で利用しやすいサービスの提供

- 主要駅のりば案内や市バスの路線図を掲載した「かわさき市バスマップ」を配布
- 運行情報提供サービス「市バスナビ」によるバス運行情報の提供
- バス車両のバリアフリー化を進めたほか、車椅子やベビーカーを御利用のお客様に、より安心して御乗車いただき、併せて多くのお客様にも御乗車いただけるよう、通常のバスと同じ座席数を確保しながら、フリースペースを設けたロングタイプの大型バス１０両を導入

社会的要請に対応した事業の推進

- 脱炭素化に向けた取組として、塩浜営業所管内において、令和６年度に試験導入した電気バス３両を使用して運行面等の検証を実施し、市バス路線の運行において導入による支障がないことを確認できたことから、令和８年度以降、電気バスを計画的に導入することを決定
- 営業所の施設照明等に係る電気について、市内の地域エネルギー会社である川崎未来エナジー株式会社が供給する川崎産の再生可能エネルギー電力を導入

経営基盤の強化

- 市バス輸送サービスを持続的に提供し、市民やお客様の大切な交通手段を確保するため、令和８年度から１２年間を計画期間とする「川崎市バス 経営計画」を策定
- 市バスの運行を支える運転手や整備員の確保に向け、合同就職説明会への参加やインターネット求人サイトへの広告掲載等、効果的な広報を推進
- 市バスのホームページ内に職員採用に特化したページを開設
- 塩浜営業所について、現在地における建替えに向けて基礎調査等を実施
- 運転手を対象とした心臓疾患・大血管疾患対策検査、脳健診及び眼科健診の実施

